



OSMOCONTROLLER II 説明書

ver 1.01

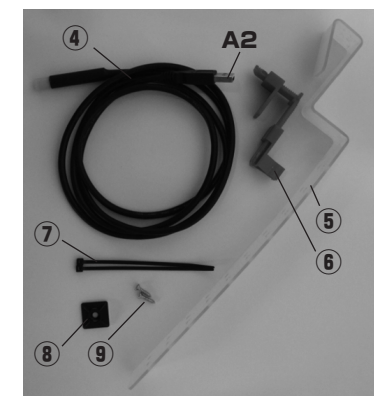
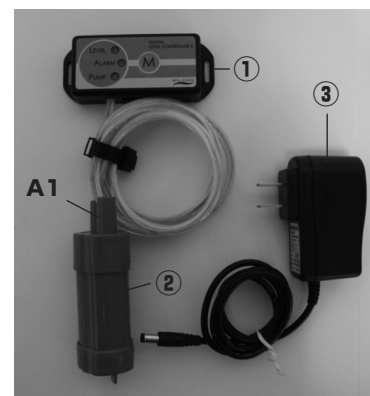
ELOS Japan (LSS Laboratory)

1. 特別な注意事項

本製品の使用にあたり特に大事な注意事項があります。
必ず注意事項を守ってご使用ください。

本製品はセンサーを使用して専用のポンプの ON/OFF を行います。
センサーのメンテナンスや設置・使用方法を間違えると水漏れや火災
などの大事故につながる恐れもございます。
説明書をよくお読みいただき不明点がある場合は、使用前に必ず専門
家や販売店、当社までご質問ください。

2. 各部の名称と梱包内容



- | | | |
|------------|-------------------|-----------|
| ① コントローラー | ④ センサー | ⑦ 結束バンド |
| ② ポンプ | ⑤ スター 1(水位が低い場合用) | ⑧ マウントロック |
| ③ AC アダプター | ⑥ スター 2(水位が高い場合用) | ⑨ 本体固定用ネジ |

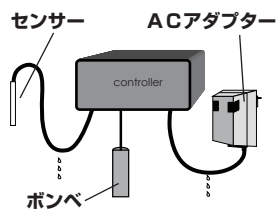
A1・・・ホース接続口(別売り)

A2・・・センサー受感部分

3. 接続と設定



本体を壁などにビス又は強力な両面テープなどを使用して固定してください。
 左の図のように付属の固定用バンドとマウントロックでケーブルを固定してください。
 本製品は防滴、及び防水ではないため水のかからない場所に設置してください。
 キャビネットの内部に OF のサブ (濾過槽) などが設置されている場所は湿度が高く基盤の破損につながる可能性がありますので設置しないでください。



本製品を設置する場合に、左の図のように各ケーブルの部分にたるみ (ループ) を持たせる事で万一の事故で本体や AC アダプターなどに伝わる水滴などのトラブル (漏電) を予防することができます。特に AC アダプター部分は大きな事故につながりますので設置場所はよく考えて設置してください。

4. センサーの設置

センサーを設置するために本製品には 2 つのステーが付属されています。
 水位が低い場合は長いステーを使用して目的の高さに調整してください。
 センサーの固定には固定用バンドを使用してください。水位が高い場合は赤いステーを使用してください。ふち無し・有り水槽のどちらにも取付けが可能です。
注意: 水流や生体の影響でセンサーが動かないように固定してください。
 うまく行かない場合は別の方法で取り付けを行ってください。

水位が低い場合



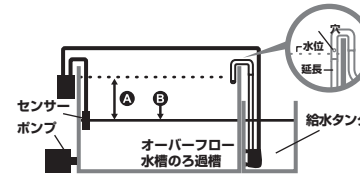
水位が高い場合



5. 設定例

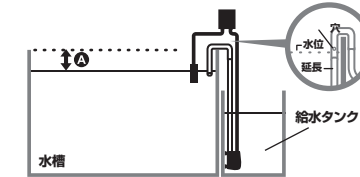
設置方法はお客様個々により異なります。
 濾過槽より大きい給水タンクは便利ではありますが、センサーが誤作動などした際に水漏れを引き起こす原因となります。こまめに給水する方法をお勧めいたします。
 また、本製品に付属しているポンプには水位を感知するセンサーは付属していないため、空運転になる前に給水を行ってください。
 ポンプの故障だけでなく火災の恐れもございます。(重要)

■ 推奨 1



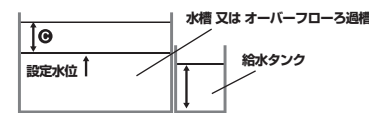
オーバーフロー水槽横に給水タンクを別途設置します。この給水タンクは図にある濾過槽の A 部分より少ない容量のものをお選びください。また、給水タンクからのパイプには小さい穴をあけ、万一、停電や動作 OFF 時の逆流を予防してください。

■ 推奨 2



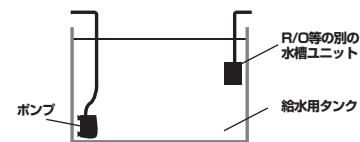
水槽横に給水タンクを別途設置します。水槽の A 部分は最低でも 500ml、できれば安全のため 2000ml 以上、センサーの先端から水槽上面までのスペースを確保できるようにセンサーの取付位置に注意してください。また、給水タンクからのパイプには小さい穴をあけ、万一、停電や動作 OFF 時の逆流を予防してください。給水タンクは給水する側の水位よりも上に設置しないでください。(逆流する可能性があります)

□ 設置不可のケース 1



給水タンクの容量が、ろ過槽の給水エリア部分 (⊙) より大きい場合。
 万一センサーの不良時にあふれる場合があります。

□ 設置不可のケース 2



濾過槽などに R/O 等の自動給水装置が組み込まれている場合

6. コントローラーの動作と表示

■ 初期設定と動作

1. 理想とする水位に水槽（オーバーフロー水槽はサンブ）を満たしてください。
2. 水位センサーの先端は水面下 1 ～ 3mm に設置していただくのが理想的です。ケーブルの漏電にはくれぐれもご注意ください。
3. 泡・水流・生体等の影響を受けない場所に設置。
4. 給水タンク内にポンプを設置する時は逆流に注意して配管・設置してください。
5. 電源が入って 5 分後から水位の測定が開始されます。
6. 給水は約 30 分おきに約 500ml ずつ行われます。
(水位センサーの先端に飼育水が達しても約 500ml は給水されます。)

■ コントローラーの LED 表示

- 赤色 LED(点滅)** …… 補充用タンクの水が無い又はポンプの故障、ホースの詰まり、いずれかの状態で、電源が入ってから 2.5 時間経過するまで点灯。
- 緑色 LED(早い点滅)** …… 電源を最初に入れてから 5 分以内は起動準備中です。
- 緑色 LED(点灯)** …… 正常です。
- 緑色 LED(遅い点滅)** …… 水位が低い状態。給水が行われます。
- 黄色 LED(点灯)** …… ポンプ作動中

7. 給水用の水に関して

一般的には、R/O 水、水道水（中和したもの）をご使用ください。海水等もご使用できますが、ポンプが止まっている間にカルシウムなどがポンプ内部で固着しポンプが動作しない場合もありますので注意して下さい。また、カルクワッサー（水酸化カルシウム）などの給水には推奨できません。水温は 40 度以下でご使用ください。長期間の間、少量しか給水を行わない場合は水が腐敗する場合も考えられますのでエアレーションなどを行うなど専門家や販売店の方と相談してください。

8. メンテナンス

当社以外にも海外では様々なメーカーから水位コントローラーが発売されています。最も多い事故は、貝や汚れなどにより誤作動をおこす事です。次にセンサーの部分にカルシウム等が固着してスムーズにセンサーが動作しなくなってしまうことです。いずれの場合も最悪の事態（過剰給水による水漏れ）を引き起こす場合があります。センサーは、定期的に動作をチェックするだけでなく、1 ～ 2 年に一度程度の割合で交換することをお勧めします。コケやゴミが付着して、ろ過槽内の水が正確に測定できない事もあります。定期的にチェックし掃除してください。

9. 使用上の注意と保証

本製品は、誤った使用方法で使用すると重大な被害を引き起こす場合があります。濾過槽と給水用タンクの容量関係やメンテナンスなど十分に注意してご使用ください。

本製品には6ヶ月間メーカー保証がありますが下記は保証の対象外です

- ・ 説明書に書かれている以外での使用時
- ・ 使用経過による商品の破損
- ・ 本製品の故障による生体の死亡及びその他の被害
- ・ 本製品の故障、破損による本製品以外の保証（水漏れ含む）
- ・ 保証書がない場合
- ・ 保証書に購入日 / 購入ショップの印等がない場合
- ・ 人から譲り受けた場合

ELOS 日本総輸入ディーラー LSS 研究所

製品に関してのご質問、トラブルは
LSS ユーザーサポートダイヤル

042-788-2390